



令和6年9月定例会

No.
104
2024.11.20

発行：福島県飯館村議会
編集：議会広報編集特別委員会

いいたて 議会だより



**第8回「飯館YOITOKO!発見ツアー」にてツアー参加者に
大倉の神楽を披露！旅の安全を祈願しました**

決算審査特別委員会	2～4
議案審議「ザ・議論」	5
審議結果	6～7
一般質問「ズバリ村政ここが聞きたい!!」	8～14
議会アンケートについて・議会の動き	15
あの質問・提案“その後”どうなった？・編集後記	16

令和6年度決算審査特別委員会

全ての会計決算を認定

一般会計歳出決算額180億円は、過去最大の規模
～復旧・復興事業に125億円～

令和5年度の予算執行について、総括的質疑と確認を行う決算審査特別委員会（佐藤眞弘委員長、佐藤健太副委員長）が、9月6日、10日、11日の3日間行われました。

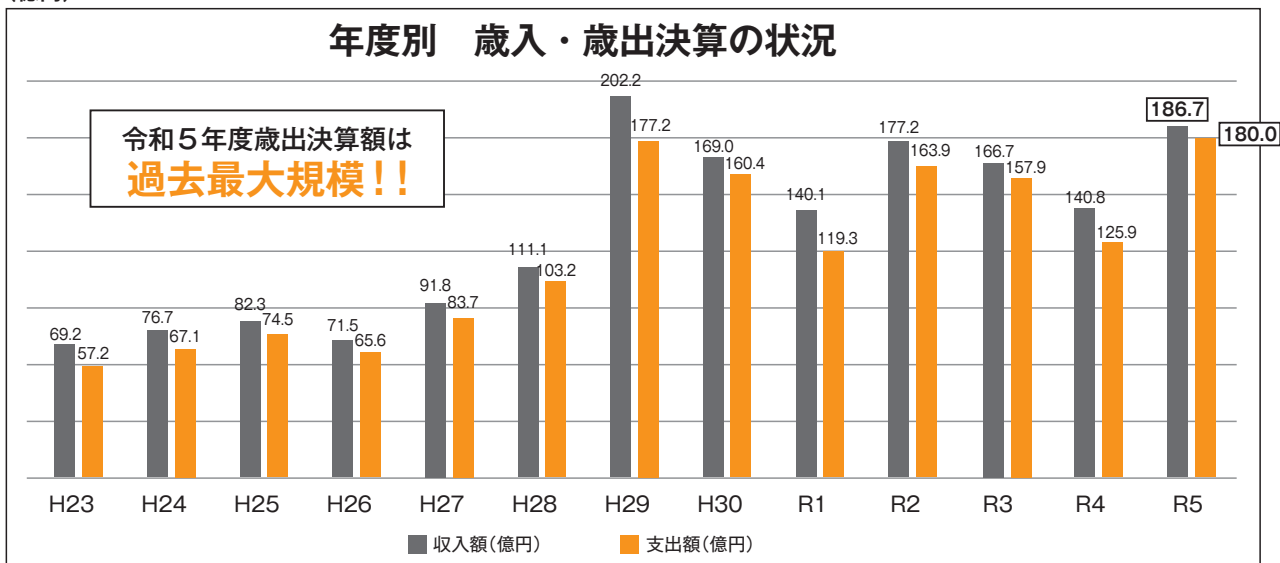
令和5年度一般会計の歳入決算額は186億7338万円、歳出決算額は180億229万円となり、歳入は過去2番目、歳出決算額は過去1番目の規模になりました。

復興・創生に関する支出は125億5482万円であり、歳出総額の69.7%を占めました。

決算審査の質疑応答を経て、採決を行った結果、全ての会計を認定しました。

※決算内容の詳細については、広報いいたて10月号をご覧ください。

(億円)



令和5年度 一般会計及び各特別会計決算額並びに採決結果

	歳 入	歳 出	差 引	委員会採決の結果
一般会計	186億7,338万円	180億 229万円	6億7,109万円	賛成多数で認定
国民健康保険特別会計	11億 451万円	9億9,488万円	1億 963万円	全員賛成で認定
簡易水道事業特別会計	1億4,945万円	1億1,926万円	3,019万円	全員賛成で認定
農業集落排水事業特別会計	4,702万円	3,077万円	1,625万円	全員賛成で認定
介護保険特別会計(事業勘定)	10億1,049万円	9億5,773万円	5,276万円	全員賛成で認定
介護保険特別会計(サービス勘定)	538万円	538万円	0	全員賛成で認定
後期高齢者医療特別会計	3,501万円	3,501万円	0	全員賛成で認定

※金額は端数処理し、万円単位にしています。

道の駅の運営費用が削減された理由は

質問 道の駅の運営費用が700万円も削減された理由は。

答弁 新しい電力会社との契約により、前年に比べて電気代が下がり378万円ほど減額、また環境整備管理業務も委託業者の見直しにより372万円ほど減額となりました。消耗品や燃料費も、道の駅の努力で減額となっています。

防犯カメラの今後の運用は

質問 復興期間が終わった後、防犯カメラの運用はどうなるのか。

答弁 復興期間中は国の補助金で運用していますが、今後は国との協議が必要です。村としては防犯は重要な課題なので、強く要望を続けていく予定です。

教職員のストレスチェックの結果は

質問 教職員に対するストレスチェックの結果はどうだったのか。

答弁 31名の教職員が対象となり、特に医療機関にかかる必要があるような深刻な事例はありませんでした。

未登記物件の管理は

質問 村が所有する土地や施設の未登記物件はどう管理されているのか。

答弁 未登記物件も村の財産台帳に記載されています。買収後、登記手続を進めるための調整が進められています。

スタートアップ補助金の支援内容は

質問 サポート事業ではどのような支援が行われているのか。

答弁 事業を始める人

には30万円までの補助

(スタートアップ補助金)があり、事業を拡大したい場合はさらに200万円までの補助(スタートダッシュ補助金)を受けられます。

飯館牛のブランド再構築は

質問 飯館牛のブランド再構築はどの事業で進めているのか。

答弁 村の産業振興課がブランド再構築のための事業を進めており、具体的な施策は今後の計画に基づいて進められます。



イイタネちゃんアプリのデータ保管は

質問 イイタネちゃんアプリに投稿されたデータはどのように保管

されているのか。

答弁 投稿されたデータは村で管理されていますが、システム変更の影響で過去のデータにアクセスするのは難しくなっています(現在は飯館村公式LINEに移行)。

飯館魅力向上・発信業務の成果は

質問 村の魅力発信事業にかかった費用と成果は。

答弁 大消費地でのイベント開催や情報発信に約1207万円が使われ、村産品の評価向上や村への関心が高まる成果が得られました。アンケートによると、多くの来訪者が村の魅力を感じ、村産の食材や商品に高い評価を与えています。

みがきあげようふるさと補助金の見直しは

質問 各行政区で取り

組んでいる「みがきあげようふるさと補助金」の事業の最終年の確認と、今後どのような計画があるのか。

答弁 令和3年から令和7年、5年間の事業です。コミュニティ担当を中心に、各行政区の役員等としっかり計画を立てながら進めてまいります。

農業用機械の管理状況は

質問 村が貸与している農業用機械はどのように管理されているのか。

答弁 農業用機械は貸出先が適切に管理する契約となっており、状況確認のために定期的に訪問しています。

移住相談の体制は

質問 移住相談に力を入れているが、土日の対応は。

答弁 移住サポートセ

ンターへ予約をいただければ、土日も対応できる体制が整っています。



▲移住サポートセンター“3ど”

電算推進事業の費用内訳は

質問 電算推進事業の電話料内訳は。

答弁 この電話料にはネット回線の利用料やイントラ回線の費用が含まれ、全職員が利用しているため大きな金額になっています。

災害時の弔慰金支給は

質問 災害時の弔慰金の支給はどのように決まるのか。

答弁 弁護士や医師な

どの専門家で構成された委員会が審査を行い、支給を決定します。

放射線相談業務の状況は

質問 放射線相談業務はどのように進められているのか。

答弁 相談業務は継続されており、訪問相談で住民の不安を聞き取りながら対応しています。

放射性物質の除去方法は

質問 工事の際に排出される水の放射性物質はどのように除去しているのか。

答弁 工事期間中の排水対応については、釜場で放射線量を管理しながら基準を満たす形で放流しており、濁りなどの管理も行っています。

村の古文書保存の進捗状況は

質問 古文書の保存状況はどうなっているのか。

答弁 古文書は旧草野小学校の教室で保管されており、光やほこりから守るために専用の保存箱に入れられています。

飼料高騰対策支援事業の誤解への対応は

質問 水稻農家に対する飼料高騰対策支援事業で誤解が生じた理由は。

答弁 誤解が生じた理由は支援事業の説明が不十分だったためで、今後はしっかりと説明していく方針です。

「人・農・食・いたて」未来へつなぐ事業の成果は

質問 「人・農・食・いたて」未来へつなぐ事業、この成果と課題は。

答弁 明治大学と福島大学に事業を委託し、村内の特産品について、新たなメニュー開発や可能性を探っている。また、イベント等に参加をしていただく中でSNS等で情報発信し、飯館村の魅力について発信をしていただきました。今回取り上げていただいた作物をどうやって振興していくか、生産を図っていくかというところが課題です。

未納水道料への対応は

質問 水道料金の未納に対してどのようにに対応しているのか。

答弁 督促を行い、債権管理を徹底しています。農業集落排水の未納も同様に対処されています。



農業機械の保険対応は

質問 村が貸与している農業機械の保険はどうなっているのか。

答弁 村が一旦保険を立て替え、使用者が後から保険料を納める形で対応しています。

公用車の導入とその機能は

質問 村の公用車は何を購入し、どのような機能を持つているのか。

答弁 令和5年に導入しました公用車は一般に使われている議会用のミニバンです。今後は、公用車に家庭用の電源を取れる機能が追加される予定で、令和6年度の導入車両で検討が進められています。

村の広報活動の改善は

質問 パブリックコメントに係る、村の広報

活動はどのように改善されたか。

答弁 ホームページだけでなく、パブリックコメントの告知方法を改善する必要があると認識しています。

道の駅の指定管理費の内容は

質問 道の駅の指定管理費はどのように使われているのか。

答弁 指定管理費は、道の駅の運営に必要な人件費や施設維持費などに使われています。

質問 道の駅の一般管理費とは何ですか。

答弁 一般管理費は道の駅の運営に必要な事務費用であり、入札を経て適正な金額で契約されています。



▲道の駅「まいでい館」

村の基金管理は

質問 村の基金はどのように管理されているのか。

答弁 基金は適切に管理され、条例に基づいて運用されています。今後の計画に応じて基金の使用が決まります。

質問 公共施設等整備基金に15億8500万円を積立てているが、内容と使い道は。

答弁 東電賠償であり、内容としては、土地・建物・立木です。

村としては、公共施設の今後の修繕も含めた維持管理経費を考えていく必要があるため、公共施設等整備基金に積み立てをしました。基金の積立、施設の維持にあたっては、計画的に検討もしなければならぬと考えています。

ザ・議論

7月臨時会では、予算案件1件、その他案件5件が審議され、9月定例会では、予算案件4件、決算認定6件、条例案件3件、その他案件3件、人事案件1件、が審議され、全ての議案が可決(認定)されました。その議論の一部を紹介します。

第5回臨時会

(令和6年7月)

【議案審議】補正予算

商業施設

(ハシドラッグさん)

質問 蓄電池を10台から3台に減らすと、電力負担が増えるのではないか。

答弁 非常時用に必要なだけの蓄電池を設置するため、日常の電力負担は変わりません。

また、深夜電力と日中電力の価格差が縮まっているため、大きな影響はありません。

質問 設備(冷蔵・冷凍機器)の故障対応は。

答弁 保険を掛けており、故障時の対応は保険でカバーする予定です。保証期間は1〜3年で、今後の保守点検は企業と協議していきます。

年度途中の会計年度任用職員の追加

質問 会計年度任用職員を3名追加する理由は。

答弁 人員が不足している部署へ、学校給食室が民間委託となって契約満了となる職員の配置転換を行うためです。

第6回定例会

(令和6年9月)

【議案審議】補正予算

新型コロナワクチン接種体制

質問 今後、新型コロナワクチン接種はどのような方法となるのか。

答弁 いちばん館で集団接種を行ってきましたが、今後は、各医療機関での接種となります。

基盤整備(自力施工)

質問 暗渠事業を、農業者(受託者含む)が

自ら施工するメリットは。

答弁 農業のスケジュールに合わせて工事を柔軟に進めることができます。初めての取組ですので、今回は試験的にを行います。



▲暗渠工事の様子(二枚橋)

公園等整備

質問 長泥コミュニティセンターに、当初計画のなかった遊具(2862万円)を設置するに至った経緯は。

答弁 当初から検討はしていましたが、長泥行政区からの要望も強くあり、子供たちが来てにぎわいをつくり、地域を活性化させる目的として今回設置する計画に至りました。



▲長泥コミュニティセンター遊具設置予定箇所

【議案審議】規約改正、物品購入

マイナンバーカード保険証

質問 マイナンバーカード保険証を利用しない場合の「資格確認書」によって、医療を受ける者の権利が損なわれる、障害になることはないか。

答弁 12月2日以降発行する資格確認書については、現在の保険証と記載内容も同じであり、支障は発生しないと考えています。

商業施設売場用商品棚の入札

質問 4社による指名競争入札が行われたが、うち3社が辞退し1社だけが入札との報告を受けました。指名競争入札で1社になった場合の規定・基準等について、入札基準を明文化し、ホームページ等で公開すべきではないか。

答弁 本村の場合は、指名競争入札が1社のみになった場合の基準等はございません。今回の場合は、3社が入札時に辞退となりましたので、問題なく成立したものと認識しています。現在のところ基準等を新たに設ける必要性は感じていませんが、他自治体の状況を踏まえ検討してまいります。



審 議 結 果

令和6年第5回（7月）臨時会では予算案件1件、その他案件5件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

- 議案第59号 令和6年度飯舘村一般会計補正予算(第3号)
既定の予算額総額に歳入歳出それぞれ1,113万8千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ135億1,904万2千円とするもの
- 議案第60号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(蔦巣ため池)請負契約について
契約の相手方 後藤建設工業株式会社
契約金額 8,690万円
- 議案第61号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(名の入ため池)請負契約について
契約の相手方 濱田建設工業株式会社
契約金額 7,788万円
- 議案第62号 村道舗装機能回復工事請負契約の変更について
契約の相手方 庄司建設工業株式会社
当初契約金額 1億6,280万円
変更契約金額 1億4,954万8,300円(1,325万1,700円減額)
- 議案第63号 商業施設売場・倉庫用冷蔵冷凍機器の取得について
契約の相手方 パナソニック産機システムズ株式会社 東北支店
契約取得金額 5,489万円
- 議案第64号 商業施設厨房用機器の取得について
契約の相手方 株式会社寺岡システム福島営業所
契約取得金額 1,017万5千円

令和6年第6回（9月）定例議会では予算案件4件、条例案件3件、その他案件10件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

- 議案第65号 令和6年度飯舘村一般会計補正予算(第4号)について
既定の予算額総額に歳入歳出それぞれ1億9,697万1千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ137億1,601万3千円とするもの
- 議案第66号 令和6年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第2号)について
既定の予算総額に歳入歳出それぞれ5,275万8千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ10億9,521万3千円とするもの
- 議案第67号 令和5年度飯舘村一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第68号 令和5年度飯舘村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第69号 令和5年度飯舘村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第70号 令和5年度飯舘村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第71号 令和5年度飯舘村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第72号 令和5年度飯舘村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

- 議案第73号 飯館村国民健康保険条例の一部を改正する条例
マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴い、令和6年12月2日から現在の保険証が廃止されるため、飯館村国民健康保険条例の関係する条項を改めるもの
- 議案第74号 飯館村税特別措置条例の一部を改正する条例
福島県税特別措置条例の一部を改正する条例が令和6年7月に公布され、同年4月1日から適用されたことに伴い、飯館村税特別措置条例の関係する条項を改めるもの
- 議案第75号 特定復興産業集積区域における村税の特例に関する条例の一部を改正する条例
福島県特定復興産業集積区域における県税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例が令和6年7月に公布され、同年4月1日から適用されたことに伴い、飯館村特定復興産業集積区域における村税の特例に関する条例の関係する条項を改めるもの
- 議案第76号 商業施設売場用商品棚の取得について
契約の相手方 三協立山株式会社タテヤマアドバンス社 東北支店
取得金額 1,573万円
- 議案第77号 福島県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更
健康保険証に代わりマイナンバーカードを活用することに伴い、本村が加盟する福島県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更するもの
- 議案第78号 令和6年度飯館村一般会計補正予算(第5号)
既定の予算総額に歳入歳出それぞれ580万8千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ137億2,182万1千円とするもの
- 議案第79号 令和6年度飯館村簡易水道事業会計補正予算(第1号)
既定の予算総額に歳入歳出それぞれ580万8千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ2億1,153万2千円とするもの
- 議案第80号 農業基盤整備促進事業(飯館西部その2)農業基盤整備工事(水路工)前田・八和木地区第11回工事請負契約について
契約の相手方 有限会社 福相建設
契約金額 1億2,210万円
- 議案第81号 飯館村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
氏名 高橋 祐一(深谷)
任期 令和6年12月2日 から 令和10年12月1日



▲9月定例会の様子

ズバリ 村政

ここが
一般質問 Q&A ききたい!!

9月定例議会の一般質問には6議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載しています。

ページの都合上、全ての議論を載せることはできません。ホームページには、本議会の会議録を掲載しているほか、各議員のページのQRコードを読み取ると、一般質問の配信動画を見ることができます。併せてぜひご覧ください。

※ご利用の際、インターネット等の通信料は個人負担となります。

※配信動画の視聴にあたり、ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

渡邊 計 議員 P9

- 1 行政区について
- 2 道の駅(風の子広場を含む)とハンドラッグについて
- 3 プレミアム付き商品券について
- 4 風力発電について
- 5 教育長について

佐藤八郎 議員 P10

- 1 自然環境の安全性について
- 2 村民の負担増について

花井 茂 議員 P11

- 1 「ふるさと納税」の現状とさらなる拡大について

横山秀人 議員 P12

- 1 医療・介護・郵便局等の生活関連サービスについて
- 2 風力発電施設設置に関する飯舘村の意見書等について
- 3 村づくり団体等の設立・運営支援について
- 4 ふるさと住民票について
- 5 未登記公有地の登記に関する進捗状況について
- 6 農業委員会による非農地判断等について
- 7 飯舘村土地改良区の解散により、飯舘村が受ける影響等について

佐藤眞弘 議員 P13

- 1 農業振興地域整備計画全体見直しについて
- 2 旧臼石小学校を核とした合宿所・宿泊所の整備について
- 3 震災以前村内の中心となっていた草野本町・飯樋町の今後の町づくりにについて

飯畑秀夫 議員 P14

- 1 有害鳥獣対策について
- 2 福祉施策について
- 3 産業振興について
- 4 ハラスメントについて

※一般質問とは

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針案等について、村の執行機関などの見解や取り組みについて質問し、提案・誘導していく製作議論です。





渡邊 計 議員

動画視聴は
こちらから



質 住民懇談会で出た意見について伺う

答 県管理の道路・河川などに関するものが最も多かったです

質問 住民懇談会で出た意見について伺う。

答 5月12日から8月25日までの間に20行政区の集会所に伺い実施いたしました。

住民懇談会の中で出された主な意見としては、県管理の道路・河川などに関するものが最も多く、ついで

- ・基盤整備
- ・支障木伐採
- ・獣害被害対策

・二重住民票

に関するものが主でありました。

質問 県管理の道路・河川についての内容について伺う。

答 道路のひび割れ等の改良、道路に掛かる支障木関係についてはどの行政区からでも、「県に対して強く要望してくれ」「処理について要望してくれ」

という話がありました。河川についても河川中の管理、村でできない部分については「県に対して要望していただきたい」という話があったところです。



▲草刈り済の河川

状況です。

質問 小宮の仮置き場からの搬出入で令和9年に牧野に返還するとなっているがアスファルト舗装の薄い道路の補修の話はなされているのか伺う。

答 返還時期のスケジュール等も鑑みながら、地域の方々とも情報共有しながら、環境省と協議を進めて参りたいと考えております。

県道・村道の草刈りの実績と問題点は

質問 実績と問題点について伺う。

答 村道草刈りについては、福島原子力災害避難区域等帰還再生加速事業を活用した住民参加型環境保全事業により、行政区内の幹線及び生活道路を中心とした14.6路線を対象に16行政区、延長149.05キロメートルの草刈りを実施して

おり、住民参加型で実施できない路線については、業者委託により10.8路線、延長92.25キロメートルの草刈りを実施しております。



▲住民参加型環境保全事業の様子

次に国・県道については福島県の委託事業により6路線を対象に16行政区、延長141.4キロメートルの草刈りを実施しております。

いずれの費用も国・県の補助金を活用していることから、復興・創生第2期・令和7年度までと言われている

中で、国・県に対し事業の継続を強く要望しているところであります。

プレミアム付き商品券の実施計画は

質問 実施計画はあるのか伺う。

答 社会情勢によっては財源確保等に努め何らかの対策が必要になることも考えられますが、現時点において実施計画はありません。

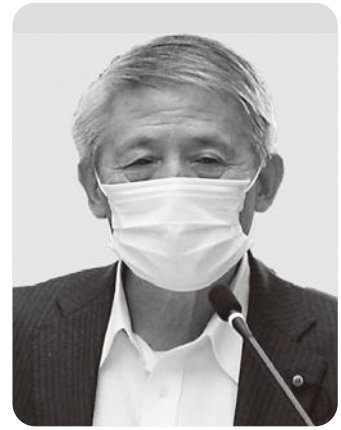
質問 懇談会の中で意見は出なかったのか。

答 飯樋行政区と小宮行政区から出たと記憶しています。

教育長の任命はどのようになっているのか

質問 任命はどうなっているのか伺う。

答 現在適任者の選考中であります。



佐藤 八郎 議員

動画視聴は
こちらから



質 安全・安心な環境と、生 業支援を

答 環境保全をして、住みやすい 村づくりを進めます

質問 自然界における放射性物質による「村全体の安全性」について村長の所見を伺う。

答弁 一年間で自然界から受ける自然放射線量は平均で2.1mSv／年となっており、食物から、大気中のラドンなどから、大地・宇宙から受けます。積算線量は、分母に積算時間を取るものであり、面積を分母とする積算線

量を評価試行することはできないものと認識しております。

質問 専門的な方々の測定と、村発行の放射線量マップとで違いがある。場所によっては5倍・10倍違うが、計測場所や平均処理などの違いか。

答弁 地上1メートルで、一辺50mメッシュの区域内で平均化処理しています（高い・低い

のばらつきもあります）。
放射性物質の違いがあるが大丈夫か

質問 他市町村では、

場所を指定して標識を立てたりしている。自然界に事故前より存在している物質をあげて答弁をしているが、原発事故によって村全面積に降散された物質（国発表31核種）は自然界の物質と違う毒物である。従って、半減期も身体・自然界への影響も違うのではないか。

答弁 村内の生活圏は

除染され、1mSvを下回っている状況です。除染されていない山林は高濃度になっている要因があるため、村としてはなるべく近づかないよう周知をしています。
質問 飯館村の自然環境を心配し、年間を通して実態計測と公表されることが大事だと

思っている。独自の体制・調査は当然村行政としての仕事ではないか。

答弁 村内放射線量

マップ、航空機モニタリングによる情報などは村独自で実施しているものです。総合的に見えるような形での要請や、大学生や先生が線量調査をして実態をつかむこともしており、大学との協定や場所の提供も、今後も村として行っていく予定です。



▶飯館村
「村内放射線量マップ」

村民のための行政執行を求める

質問 村民の負担が増えることについて、国・県の言いなりで、20

27年以降は原発事故前の行政に戻して「賠償・補償・減免など全て終わりにする」としているが、村民の生活は復旧・復興されて、生活・生業の上でも、事故前のような行政執行となっているのか、現実と見通しを示せ。

答弁 東電による事故被害に対する賠償・補償は、期限を設けず完了するまで継続されます。医療・介護・保険料等の減免措置は令和8年度には保険料等の2分の1課税、令和9年度からは全額課税、令和10年度からは窓口での一部負担再開となっております。

質問 村民の生活上で

関わる、今ある制度①子供②女性③障害者④高齢者⑤介護保険⑥生活保護⑦労働者への支援、⑧貸付け制度⑨年金⑩税金⑪住宅関連⑫新たな負担などについて

て、今とこれからの見通しはどうなるのか示せ。

答弁 住民生活に密接

に関わる制度などが変更される場合には、区長会や行政区総会、住民懇談会、村広報紙などで周知していきます。



▲住民懇談会での説明の様子

質問 変更の場合では

なく、村民の生活実態を把握して要求することが大事なのではないか。

答弁 村民の方々に不

安が生じることのないように、職員全体で村民をしっかり支える行政執行をしてまいります。



花井 茂 議員

動画視聴は
こちらから



質問 「ふるさと納税」返礼品の現況と動向について伺う。

答弁 避難指示解除前の平成27度は、村産品がほとんど無いため震災前に村が産品としていたものと同様種類の全国の代替品を主な返礼品としていました。現在は、23品ある返礼

品のうち「飯館村産・里山のつぶ」や「純米大吟醸飯館」・「アグリコーヒー」など13品が村産品となっております。

質問 今後の返礼品については、「物」だけでなく「きこり」の宿泊クーポンや「あいの沢キャンプ場」の利用クー

質 本村における「ふるさと納税」の実績として、件数と寄付額の推移を伺う

答 平成27年度が最も寄付額多く9611件・3億7139万円で令和5年度は358件・1千128万9968円となっております

ポンなど体験型の返礼品を検討してはどうか。

答弁 返礼品については総務省等の指示により「村で生産されたもの」でなければ駄目だということになり、村の中で個人の生産者の含め産品の掘り出しを進めてまいりましたが、納税額の減少を抑えるに至りませんでした。

今後の返礼品については「物」にこだわらず、大量生産は出来なくとも、村民の方が作り上げる希少な産品や体験型の返礼品などのエントリーを増やす見直しが必要だと考えているところであります。

質問 「ふるさと納税」の寄付金の活用実態について伺う。

答弁 「ふるさと納税」として受けた寄付金については、主に東日本大震災による原発事故災害からの復興に向けて村民の生活再建のた

▼ 飯館村では以下の寄附を受付しています

- ・復興・振興に活用「一般寄附」



- ・子ども達に対する教育・保育等の支援が目的「いいたてっ子未来寄附」



- ・原発事故からの営農再開・企業再開の支援が目的「陽はまた昇る基金寄附」



めの営農再開や企業の事業再開また教育や福祉の充実を図ることを目的とした事業に活用しています。

令和5年の実績としては「未来へつなぐ農業支援事業補助金」「在宅サービス提供加算費」「ふるさとへの担い手わくわく補助金」「あぶくまもち生産推進補助金」「ふるさとへの担い手スタートアップ補助金」「移住定住支援事業補助金」などに活用しています。

質問 「ふるさと納税」

の募集や受け入れに伴う費用経費の現状について伺う。

答弁 ふるさと納税の受け入れに伴う経費については、返礼品に係る事務手数料など今年度予算では約470万円を計上しているところであります。

質問 「ふるさと納税」の募集PR等を含め、更なる拡充に向けた展望を伺う。

答弁 ふるさと納税は、貴重な自主財源確保や村産品のPRまた促進販売の場として、有用

かつ重要な施策と考えっております。

今後もホームページや「ふるさと納税サードサイト」でのPRに加え、返礼品の品数を増やすための誘引策として、「ふるさとへの担い手スタートアップ補助金」による新産品の創出支援等を進めてまいります。これらの取り組みに加え「ふるさと納税ポータルサイト」を新たに増やし、ふるさと納税制度の活用を推進してまいります。



横山 秀人 議員

動画視聴は
こちらから



質 村内に風力発電施設が計画されています。いいいて美しい村づくり推進条例の強制力を伺います

答 当条例で定める手続きや基準を満たさない場合、指導や許可を取り消すこともできます

質問 風力発電施設が村にできることについて、村民の意見をどのように反映しますか。また、村が事業を中止させたり、変更させたりすることはできますか。

答弁 村は、事業者に対して村民の意見を反映し、十分に説明する

生活関連サービスの充実

質問 医療や介護、郵便局などのサービスが

どれくらい復旧しているか教えてください。また、村民からクリーニング店やコインランドリーが必要という声があります。新たな要望について村はどのように対応しますか。

答弁 クリニックの診療日は火・木の週2日です。訪問診療も行っています。介護サービスは、村内外で利用できる体制を整えています。郵便局全ての再開は難しいですが、新たに3か所ポストを設置しました。新しいサービスの要望については、民間企業が進出しやすい条件整備も含め検討しています。

地域活動を支えるセンターの設置

質問 地域活動をしている団体を支えるため、「地域活動サポートセンター」の設置が必要ではないでしょうか。

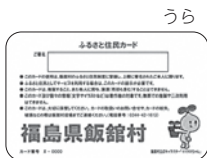
答弁 現在は、相談内容に合わせ担当課で支援しています。新しいセンターを作るのは難しいですが、村としては民間での自主的な活動を期待しています。

ふるさと住民票の活用

質問 村外に住んでいる人向けの「ふるさと住民票」制度について、状況と今後の方針を教えてください。また、村から住民票を移した方にもこの制度をもっと紹介すべきだと思います。



おもて



▲ふるさと住民票

答弁 ふるさと住民票

はすでに1030枚発行されています。これからはLINEなども使って、もっと情報を発信していきます。村から住民票を移した方にも広報と一緒に案内を進めていきます。

未登記村有地の解消

質問 村が土地買収はしたものの、登記していない土地について、どこまで手続きが進んでいるのか、いつまでに終わるか教えてください。

答弁 福島県公共嘱託登記土地家屋調査士協会と協力して手続きを進めています。相続(※土地の所有権の引き継ぎ)が進んでいない問題もあるため、村事業等実施時に必要なところから順次解消していきます。

荒廃農地の適正課税

質問 農地利用が困難な農地について「田畑」として課税されている状況について、今後どのように対応しますか。

答弁 基本、農地の所有者が申請して、農業委員会が現状を確認し、農地かどうかを判断します。引き続き、農地法等に基づき事務を進めていきます。

土地改良区の解散について

質問 土地改良区(※農業用の水路や設備を管理する団体)が解散すると、村や農業者にどのような影響がありますか。

答弁 土地改良区が保有している水路などは村が引き継ぐ予定です。農業者への影響を少なくするため、村がしっかりと対応します。



佐藤 真弘 議員

動画視聴は
こちらから



質 農業振興地域整備計画全体見直しについて伺う

答 年2回程度、お知らせ版にて周知し、計画変更手続きを実施しています

質問 飯館村の農業振興整備計画の全体見直しのこれまでの進捗と今後の予定について伺う。

答 農業振興整備計画は、農業を振興するとともに農地を守るための計画であり、市町村がおおむね10年を見通して、必要事項を定めたものです。

質問 農用地区域の検討に当たり、村の基本方針としての除外・編入の要件をどのように考えているか伺う。

答 編入については、都度現地を見ながら検討しているところです。

は、年2回程度、お知らせ版にて住民の皆様にお知らせし、計画変更の手続を実施しております。

一方、除外に当たっては、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、①当該変更に係る土地を農用地等以外の用地に供することが必要かつ適当であつて、農用地区域以外の区域内の土地をもって代えることが困難であること、②地域計画の達成に支障を及ぼすおそれがないと認められること、③農用地の集団化、農作業の効率化、その他土地の農業上の効率的かつ総合的な利用に支障を及ぼすおそれがないと認められること、④農用地の利用の集積に支障を及ぼすおそれがないと認められること、⑤土地改良施設の有する機能に支障を及ぼすおそれがないこと、⑥農業に関する公共投資により得られる効用の確保を図る観点から政令で定める基準に適合していることといっ

た6つの要件に照らし合わせて、除外等の要件を満たすかどうかを福島県の指導の下精査し、福島県の同意を得た場合のみ除外等を実施しております。



旧臼石小学校の活用の見通しは

質問 スポーツ関連の合宿等を誘致するための旧臼石小学校跡地の改修はできないか伺う。

答 施設の改修についてですが、村は、令和2年4月1日から、旧臼石小学校の校舎、体育館、プールを、令和2年12月1日からは校庭を含め、民間事業者に貸付けを行っているとあります。現在施設の改修は考えておりません。



▲旧臼石小学校

質問 村としても今後、旧臼石学校をこういふうにしたいという見通しはあるのか伺う。

答 まずは民間の活力を引き出したいと考えております。ただ、確かに村の資源として非常に有効なものでございまして、様々な意見を踏まえ、利用されている企業と連携を図りながら進めてまいりたいと考えております。

草野本町・飯樋町の今後の町づくりは

質問 村の中心となつていた草野本町・飯樋町の今後の町づくりについて伺う。

答 第7次総合振興計画の策定を今年度から始めますので、行政だけでなく、住民の皆様あるいは村に興味を持ち、ふるさとの担い手となる方の意見を聞きながら将来構想を進めてまいります。

質問 飯館村の中心地の町並み、今見ると人家もほとんど建っていないような寂しい景観であることから、これから復興に向けて町並みの形成、それから構想をしっかりと持って再生していただきたい。

答 人口増加策は喫緊のことでありまして、7次総の策定を待たずとも、皆様との様々な協議の中で、先行して進めていくところがあるだろうと考えているところです。



飯畑 秀夫 議員

動画視聴は
こちらから



質 村の鳥獣被害対策の現状は
答 計画的に、適切に捕獲活動を進めてまいります

質問 村内でニホンザル、イノシシ等の被害が多発しているが、当村の対策は。

答弁 ニホンザルは、「サル駆除プロジェクトチーム」を編成し、特に捕獲活動に力を入れているところです。なお、現在進めている、群れに対するモニタリング調査の完了後、管理計画を策定し、適切に捕獲活動を進めてまいります。

イノシシは、豚熱の流行等を背景に捕獲頭数は減少しておりますが、令和5年度からは捕獲頭数が増加しており、引き続き捕獲活動に力を入れてまいります。

さらに、電気牧柵の貸与や大型囲いわなやくくりわなの設置、イノシシが河川敷のやぶをすみかとするのを防ぐための河川除草作業等、農業被害を防ぐ



▲村内に生息するイノシシ

ための対策など、引き続きハード、ソフトの両面で実施してまいります。

村の福祉施策としての補助は

質問 独り暮らしの高齢者や子育て世帯への暖房費の補助を行うべきだと考えるが、村の見解は。

答弁 村では、コロナ対策や原油高騰対策としてこれまで補助金を交付してきました。今後も国や県の支援策があれば速やかに実施します。また、住民税非課税世帯などには給付

金の支援を行っております。

質問 国、県とは別に村独自の支援ができませんのか。

答弁 国の経済対策が非常に大型に実施されておりしますので、そういったものをしっかりと適切に、速やかに実施をしていくというのが現在の村の考えです。

介護保険料の推移と今後の見通しは

質問 介護保険の被保険者数と保険料の推移、今後の見通しを伺う。

答弁 現在、65歳以上の被保険者数は2096人です。介護保険料は、令和3年度から令和5年度は7150円、令和6年度から令和8年度は6300円です。介護保険料の算定は、今後の高齢者福祉計画に基づいて進めています。

質問 今後の介護保険料は他市町村と合わせて補填するのか。

答弁 村が補填をするということだけを考えているわけではありません。村民が健康になること、働く場所をつくりながらなりわい人口を増やし、若い世代も増やしていくということ、それによって総合的に介護保険料が抑制をされていき、国保税も適正になっていくことを目指しているというのが村の姿勢です。

商業施設建設による影響は

質問 商業施設の建設が進んでいるが、道の駅「までい館」やセブンイレブンの売上げ減少が予想される。地元の野菜や花はハシドラッグなどで販売されるのか。

答弁 商業施設建設に際し、地元商工会や近隣の市町村へ影響の説

明を行い、同意を得ています。また、ハシドラッグさんでは、飯館村産の野菜や花を村内店舗だけでなく、他の店舗でも販売する予定です。

飯館村役場内のハラスメントの実態は

質問 村役場内でのパワーハラスメントの定義や対策は。

答弁 パワーハラスメントは、人事院規則に基づき、精神的や身体的苦痛を与える言動を指します。村では、研修を実施し、ハラスメントの防止に努めています。職場でパワーハラが発生した場合、総務課が相談を受け、必要に応じて第三者機関で対応します。



議会アンケート実施中！



あなたの声が、飯舘村の未来を作る！



回答期限

2024年
11月30日

迫る！！

返信用封筒

アンケート表面

あなたの声が、飯舘村の未来をつくる！
飯舘村議会は、皆さんの意見を大切にしています！

飯舘村議会 議員 皆様へ

本議会では、皆さんの意見を大切にし、より良い村づくりを進めています。皆さんの声を聞くことは、私たちの大切な仕事です。ぜひ、皆さんの意見を教えてください。

1. 質問は？

2. 回答は？

3. 質問事項は？

4. 一層に詳しく知りたい事項は？

5. 飯舘村の未来について、皆さんは？

6. 飯舘村の未来について、皆さんは？

7. 飯舘村の未来について、皆さんは？

8. 飯舘村の未来について、皆さんは？

9. 飯舘村の未来について、皆さんは？

10. 飯舘村の未来について、皆さんは？

11. 飯舘村の未来について、皆さんは？

12. 飯舘村の未来について、皆さんは？

13. 飯舘村の未来について、皆さんは？

14. 飯舘村の未来について、皆さんは？

15. 飯舘村の未来について、皆さんは？

16. 飯舘村の未来について、皆さんは？

17. 飯舘村の未来について、皆さんは？

18. 飯舘村の未来について、皆さんは？

19. 飯舘村の未来について、皆さんは？

20. 飯舘村の未来について、皆さんは？

21. 飯舘村の未来について、皆さんは？

22. 飯舘村の未来について、皆さんは？

23. 飯舘村の未来について、皆さんは？

24. 飯舘村の未来について、皆さんは？

25. 飯舘村の未来について、皆さんは？

26. 飯舘村の未来について、皆さんは？

27. 飯舘村の未来について、皆さんは？

28. 飯舘村の未来について、皆さんは？

29. 飯舘村の未来について、皆さんは？

30. 飯舘村の未来について、皆さんは？

31. 飯舘村の未来について、皆さんは？

32. 飯舘村の未来について、皆さんは？

33. 飯舘村の未来について、皆さんは？

34. 飯舘村の未来について、皆さんは？

35. 飯舘村の未来について、皆さんは？

36. 飯舘村の未来について、皆さんは？

37. 飯舘村の未来について、皆さんは？

38. 飯舘村の未来について、皆さんは？

39. 飯舘村の未来について、皆さんは？

40. 飯舘村の未来について、皆さんは？

41. 飯舘村の未来について、皆さんは？

42. 飯舘村の未来について、皆さんは？

43. 飯舘村の未来について、皆さんは？

44. 飯舘村の未来について、皆さんは？

45. 飯舘村の未来について、皆さんは？

46. 飯舘村の未来について、皆さんは？

47. 飯舘村の未来について、皆さんは？

48. 飯舘村の未来について、皆さんは？

49. 飯舘村の未来について、皆さんは？

50. 飯舘村の未来について、皆さんは？

51. 飯舘村の未来について、皆さんは？

52. 飯舘村の未来について、皆さんは？

53. 飯舘村の未来について、皆さんは？

54. 飯舘村の未来について、皆さんは？

55. 飯舘村の未来について、皆さんは？

56. 飯舘村の未来について、皆さんは？

57. 飯舘村の未来について、皆さんは？

58. 飯舘村の未来について、皆さんは？

59. 飯舘村の未来について、皆さんは？

60. 飯舘村の未来について、皆さんは？

61. 飯舘村の未来について、皆さんは？

62. 飯舘村の未来について、皆さんは？

63. 飯舘村の未来について、皆さんは？

64. 飯舘村の未来について、皆さんは？

65. 飯舘村の未来について、皆さんは？

66. 飯舘村の未来について、皆さんは？

67. 飯舘村の未来について、皆さんは？

68. 飯舘村の未来について、皆さんは？

69. 飯舘村の未来について、皆さんは？

70. 飯舘村の未来について、皆さんは？

71. 飯舘村の未来について、皆さんは？

72. 飯舘村の未来について、皆さんは？

73. 飯舘村の未来について、皆さんは？

74. 飯舘村の未来について、皆さんは？

75. 飯舘村の未来について、皆さんは？

76. 飯舘村の未来について、皆さんは？

77. 飯舘村の未来について、皆さんは？

78. 飯舘村の未来について、皆さんは？

79. 飯舘村の未来について、皆さんは？

80. 飯舘村の未来について、皆さんは？

81. 飯舘村の未来について、皆さんは？

82. 飯舘村の未来について、皆さんは？

83. 飯舘村の未来について、皆さんは？

84. 飯舘村の未来について、皆さんは？

85. 飯舘村の未来について、皆さんは？

86. 飯舘村の未来について、皆さんは？

87. 飯舘村の未来について、皆さんは？

88. 飯舘村の未来について、皆さんは？

89. 飯舘村の未来について、皆さんは？

90. 飯舘村の未来について、皆さんは？

91. 飯舘村の未来について、皆さんは？

92. 飯舘村の未来について、皆さんは？

93. 飯舘村の未来について、皆さんは？

94. 飯舘村の未来について、皆さんは？

95. 飯舘村の未来について、皆さんは？

96. 飯舘村の未来について、皆さんは？

97. 飯舘村の未来について、皆さんは？

98. 飯舘村の未来について、皆さんは？

99. 飯舘村の未来について、皆さんは？

100. 飯舘村の未来について、皆さんは？

アンケート裏面

1. 質問は？

2. 回答は？

3. 質問事項は？

4. 一層に詳しく知りたい事項は？

5. 飯舘村の未来について、皆さんは？

6. 飯舘村の未来について、皆さんは？

7. 飯舘村の未来について、皆さんは？

8. 飯舘村の未来について、皆さんは？

9. 飯舘村の未来について、皆さんは？

10. 飯舘村の未来について、皆さんは？

11. 飯舘村の未来について、皆さんは？

12. 飯舘村の未来について、皆さんは？

13. 飯舘村の未来について、皆さんは？

14. 飯舘村の未来について、皆さんは？

15. 飯舘村の未来について、皆さんは？

16. 飯舘村の未来について、皆さんは？

17. 飯舘村の未来について、皆さんは？

18. 飯舘村の未来について、皆さんは？

19. 飯舘村の未来について、皆さんは？

20. 飯舘村の未来について、皆さんは？

21. 飯舘村の未来について、皆さんは？

22. 飯舘村の未来について、皆さんは？

23. 飯舘村の未来について、皆さんは？

24. 飯舘村の未来について、皆さんは？

25. 飯舘村の未来について、皆さんは？

26. 飯舘村の未来について、皆さんは？

27. 飯舘村の未来について、皆さんは？

28. 飯舘村の未来について、皆さんは？

29. 飯舘村の未来について、皆さんは？

30. 飯舘村の未来について、皆さんは？

31. 飯舘村の未来について、皆さんは？

32. 飯舘村の未来について、皆さんは？

33. 飯舘村の未来について、皆さんは？

34. 飯舘村の未来について、皆さんは？

35. 飯舘村の未来について、皆さんは？

36. 飯舘村の未来について、皆さんは？

37. 飯舘村の未来について、皆さんは？

38. 飯舘村の未来について、皆さんは？

39. 飯舘村の未来について、皆さんは？

40. 飯舘村の未来について、皆さんは？

41. 飯舘村の未来について、皆さんは？

42. 飯舘村の未来について、皆さんは？

43. 飯舘村の未来について、皆さんは？

44. 飯舘村の未来について、皆さんは？

45. 飯舘村の未来について、皆さんは？

46. 飯舘村の未来について、皆さんは？

47. 飯舘村の未来について、皆さんは？

48. 飯舘村の未来について、皆さんは？

49. 飯舘村の未来について、皆さんは？

50. 飯舘村の未来について、皆さんは？

51. 飯舘村の未来について、皆さんは？

52. 飯舘村の未来について、皆さんは？

53. 飯舘村の未来について、皆さんは？

54. 飯舘村の未来について、皆さんは？

55. 飯舘村の未来について、皆さんは？

56. 飯舘村の未来について、皆さんは？

57. 飯舘村の未来について、皆さんは？

58. 飯舘村の未来について、皆さんは？

59. 飯舘村の未来について、皆さんは？

60. 飯舘村の未来について、皆さんは？

61. 飯舘村の未来について、皆さんは？

62. 飯舘村の未来について、皆さんは？

63. 飯舘村の未来について、皆さんは？

64. 飯舘村の未来について、皆さんは？

65. 飯舘村の未来について、皆さんは？

66. 飯舘村の未来について、皆さんは？

67. 飯舘村の未来について、皆さんは？

68. 飯舘村の未来について、皆さんは？

69. 飯舘村の未来について、皆さんは？

70. 飯舘村の未来について、皆さんは？

71. 飯舘村の未来について、皆さんは？

72. 飯舘村の未来について、皆さんは？

73. 飯舘村の未来について、皆さんは？

74. 飯舘村の未来について、皆さんは？

75. 飯舘村の未来について、皆さんは？

76. 飯舘村の未来について、皆さんは？

77. 飯舘村の未来について、皆さんは？

78. 飯舘村の未来について、皆さんは？

79. 飯舘村の未来について、皆さんは？

80. 飯舘村の未来について、皆さんは？

81. 飯舘村の未来について、皆さんは？

82. 飯舘村の未来について、皆さんは？

83. 飯舘村の未来について、皆さんは？

84. 飯舘村の未来について、皆さんは？

85. 飯舘村の未来について、皆さんは？

86. 飯舘村の未来について、皆さんは？

87. 飯舘村の未来について、皆さんは？

88. 飯舘村の未来について、皆さんは？

89. 飯舘村の未来について、皆さんは？

90. 飯舘村の未来について、皆さんは？

91. 飯舘村の未来について、皆さんは？

92. 飯舘村の未来について、皆さんは？

93. 飯舘村の未来について、皆さんは？

94. 飯舘村の未来について、皆さんは？

95. 飯舘村の未来について、皆さんは？

96. 飯舘村の未来について、皆さんは？

97. 飯舘村の未来について、皆さんは？

98. 飯舘村の未来について、皆さんは？

99. 飯舘村の未来について、皆さんは？

100. 飯舘村の未来について、皆さんは？

返信用封筒

9601890

福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢580番地1

飯舘村議会事務局 行

飯舘村議会事務局

村民アンケート回答用紙在中

〒960-1890

アンケート用紙は2024年10月5日発送の村からの広報物の封筒に返信用封筒と合わせて同封しています。

◆回答方法◆

アンケート用紙に記入し同封の返信用封筒(切手不要)で送ってください。

議会を傍聴してみませんか

氏名の記入など簡単な手続きで、誰でも傍聴ができます。
なお、村のホームページ・イタネちゃんアプリで議会議中継(生配信)をしているほか、過去に開催された本会議、予算・決算審査特別委員会の映像はYouTubeのウェブサイトで公開しています。

今後の議会(予定)

12月定例会
令和6年
12月6日(金)～13日(金)

※正式な日程は告示後、飯舘村議会ホームページにてお知らせいたします。



議会の主な動き

(7～9月)

- 7月
 - 2日 町村議会広報研修会
 - 26日 議会運営委員会
 - 全員協議会
 - 第5回臨時会本会議
- 8月
 - 20日 町村議会正副議長・事務局長研修会
 - 26日 議会運営委員会
 - 30日 全員協議会
 - 第6回定例会開会
 - 各常任委員会
- 9月
 - 6日 決算審査特別委員会
 - 10日・11日 決算審査特別委員会 個別説明
 - 11日 議会運営委員会
 - 13日 全員協議会
 - 第5回定例会 議案審議・閉会
 - 25日 広報編集特別委員会
 - 全国町村議会広報研修会

追跡調査!!

議員が定例会で行う一般質問や予算・決算審査での総括質疑。この記事では過去の質問や提案の一部を取り上げ、その後の村政にどう活かされているのか追跡します。



あの質問・提案その後 どうなった

結婚・妊娠・出産・子育て等の支援の充実を！

議員からの質問・提案

他市町村では、出産祝い金等さまざまな支援がある。飯館村においても結婚・妊娠・出産・子育て等の支援の充実を！

(令和4年9月定例会
※議会だよりNo.96号
掲載)

村からの回答

現在、出産祝い金事業は行っていません。今後、様々な支援も含め検討します。



追



村の子育て支援金が充実されました

令和5年4月より、赤ちゃん誕生祝金(20万円)、子育て応援支援金(小学校・中学校入学時核10万円、高等学校入学時20万円)等が実施されています。

※「子育て応援支援金」については、ホームページをご確認ください ⇒



※「赤ちゃん誕生祝金」については、健康福祉課健康係までお問い合わせください。

危険な箇所は早期に修繕を行うべき！

議員からの質問・提案

長泥スカイラインの頂上の展望台の柵が壊れている。危険なので早急に修繕を！

(令和4年9月定例会
※議会だよりNo.96号
掲載)

村からの回答

国道399号線、県道、村道の部分の災害で被災した箇所等については国県に要望しています。展望台の柵については、県が対応し、解除前に直す見込みです。

追



修繕されました

写真の通りに修繕がされました。



編集後記

「渡り鳥」は季節の移り変わりごとに大移動を行う。それは食料を求めてであったり良い住環境を求めてだったりそれぞれの事情がある。人間も厚い時期には「避暑」で北海道や、軽井沢で過ごす人がいる。かつて飯館村は3年に1度は夏の冷夏で米が採れない地域だった。この夏の涼しさをアピールして居住人口を増やせないか、猛暑の中思うところです。

発行責任者

議長 高橋 孝雄

編集

広報編集特別委員会

委員長 佐藤 健太

副委員長 佐藤 真弘

委員 佐藤 一郎

委員 横山 秀人

委員 花井 秀夫

委員 飯畑 秀夫